

家畜衛生情報

683号 東部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所 2026.4.10

令和8年度 新スタッフ 1	☆(祝)稲葉山牧野 JGAP 認証取得! 4
令和8年度 富山県畜産振興推進方針 ... 2	県畜産関係職員人事異動 5
令和8年度 主な畜産関係事業の概要 ... 3	防疫情報 6
鳥インフルエンザ発生状況 4	家畜衛生検査手数料の改正について ... 6
豚熱とアフリカ豚熱の発生状況 4	

令和8年度新スタッフ

4月1日より新年度を迎え、新しい体制でスタートしました。家畜伝染病の防疫、家畜の生産性向上、畜産物の安全確保、畜産環境保全等に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



東部家畜保健衛生所

係長	係長	係長	副主幹	副主幹
副主幹	獣医師	獣医師	主任	係長
				係長
環境課長	防疫課長	所長	次長	検査課長

西部家畜保健衛生所

主任	主任	係長	主任	主任専門員
主任	主任	係長	係長	獣医師
検査課長	次長	所長	防疫課長	環境課長



令和8年度 富山県畜産振興推進方針

今年3月、意欲ある担い手が生産拡大や競争力の強化に取り組める経営環境を実現し、富山の美味しい畜産物によって、生産者と消費者が幸せになれる、未来につながる畜産経営を目指して、令和8年度に向けた畜産振興の取組みとなる富山県畜産振興推進方針を策定しました。

今後は、関係機関・団体と協力し、目標達成のために各種施策を総合的に推進します。

1 基本方針

- 飼養技術の高位平準化やスマート農業技術の活用などによる畜産経営コストの削減、畜産クラスター事業などを活用した生産基盤の強化を推進する。
- 県産畜産物のブランド化、価格高騰対策、畜産物の安全確保などにより、経営競争力の強化を図るとともに新たな担い手の確保を推進する。
- 飼料自給率の向上と耕畜連携による資源循環型農業の推進、家畜伝染病の防疫体制の強化などを行うことにより、地域と調和した経営を推進する。

2 主要目標指標

区 分		令和8年度目標	(参考) 令和7年度見込
畜産物の生産量 (t)	生乳	12,200	12,499
	牛肉	650	646
	豚肉	3,400	3,403
	鶏卵	13,400	13,362
飼料自給率 (%) (飼料作物面積等から推定)		28	28
飼料用稲面積 (ha) (県内生産・流通)	飼料用米	500	494
	稲WC S	460	457
	計	960	951
水田放牧等の面積 (ha)		25.0	24.0

※ 令和8年度産出額の目標値は95億円(【参考】令和6年度：78億円)

3 重点推進事項

【畜産経営コストの削減、生産基盤の強化】

- (1) スマート農業技術の活用などにより、生産性向上やコスト低減、省力化を推進
- (2) 国の畜産クラスター事業等による施設・機械の整備や暑熱対策等への支援などにより、生産基盤の維持・拡大を推進
- (3) 優良種畜(大家畜、豚、受精卵)や性判別精液の導入による家畜の改良増殖を推進

【経営競争力の強化、新たな担い手確保】

- (1) 「とやま和牛 酒粕育ち」、「とやまポーク」等のブランド力の強化や「県産牛乳」の消費拡大の取組みを推進
- (2) 畜産物の価格安定制度の活用や飼料等の価格高騰対策などにより経営安定を支援
- (3) 家畜人工授精師養成や獣医師確保、離農施設の再活用による新規就農支援、法人化による経営継承及び雇用就農促進など、新たな担い手などの確保対策を推進
- (4) ㈱富山食肉総合センターの安全安心な食肉供給に向けた施設整備等を支援
- (5) HACCP や GAP の認証取得などを推進し、畜産物の安全確保と労働負担軽減を推進

【地域と調和した経営の推進】

- (1) 稲WC S や子実トウモロコシなどの生産・利用の推進による飼料自給率の向上
- (2) 家畜伝染病の発生予防とまん延防止のため、豚熱ワクチンの接種、野生動物の侵入防止、消毒徹底などの飼養衛生管理対策と防疫資材の備蓄など体制整備を推進
- (3) 温室効果ガス (GHG) 排出量の削減や、耕畜連携による資源循環型農業を推進するとともに、修繕による長寿命化支援など環境規制にも対応可能な施設整備を推進

(農業技術課 高平主幹)

令和8年度 主な畜産関係事業の概要			予算額 (千円)
家畜改良増殖 対策事業	大家畜牛群改良推進事業	乳用牛及び肉用牛の牛群能力の向上	2,229
	畜産共進会開催事業	県内及び県外で開催される共進会開催費への支援	295
	優良肉豚生産システム化事業	優良な肉豚を生産するために必要な種豚の導入等に対する支援	1,825
	優良牛群整備推進事業	酪農家や肉牛農家での受精卵移植技術の活用、家畜人工授精師講習会の開催 等	6,181
畜産経営向上 対策事業	畜産経営総合指導体制整備強化事業	畜産コンサルタントによる総合支援指導	4,180
	畜産担い手ナビゲート事業	高校生の畜産体験、企業参入支援と情報一元化	461
	畜産環境保全指導事業	畜産環境問題等の発生防止のための総合指導	479
	養豚体制整備事業	国の「養豚経営安定制度」における生産者積立金への助成	9,000
	食肉衛生基盤強化事業	(株)富山食肉総合センターの施設整備、肉畜集荷対策への支援	28,674
飼料生産総合 対策事業	飼料利活用高度化事業	飼料作物の優良品種の選定、飼料・土壌等の成分分析	1,420
	牧場経営安定対策事業	公共牧場へ預託事業等の経費の一部助成、簡易放牧支援等	5,358
	「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業	エコフィードの需給マッチング、「とやま和牛 酒粕育ち」のブランド化推進と生産拡大支援	2,400
	飼料生産資材価格高騰緊急支援事業 (R7年11月補正) (R7繰越事業)	飼料生産に必要な生産資材(種子、燃油等)の価格高騰に対して支援するもの(④450円/10a)	2,900
	新 耕畜連携濃厚飼料生産利用支援事業	堆肥利用や子実トウモロコシの生産・利用に必要な機械の導入に支援	10,000
	飼料価格高騰経営安定緊急支援事業 (対象：令和8年度、800円/トン)	配合飼料の低減等を図る畜産農家に、飼料の購入数量に応じ、奨励金を交付する	37,600
とやま畜産基 盤強化事業	とやまの畜産暑熱対策支援事業	家畜への暑熱ストレスを軽減するための施設改修や機械導入への支援	2,800
安心で美しい郷づくり事業		動物産とのふれあいに係る取組みや蜜源確保等	582
家畜伝染病予防事業		家畜伝染病予防法に基づく検査・指導等	36,152
新 県獣医師確保対策事業		県農林水産部獣医師を志す高校3年生及び大学生への修学資金の貸与事業への補助	1,955
家畜伝染病防疫体制強化整備事業		消毒機器等の整備、家畜伝染病防疫演習の開催、初動防疫体制の強化、防疫資材の備蓄等	4,636
豚熱ワクチン接種推進事業		豚熱ワクチン接種の推進とモニタリング検査	16,711
野生いのしし家畜伝染病防疫対策事業		野生いのししの豚熱及びアフリカ豚熱検査、アフリカ豚熱の発生を想定した防疫資材の備蓄等	10,120
畜産物安全性 確保総合対策 事業 (農産食品課)	飼料安全性確保強化指導事業	飼料の安全性確保と適正な使用・管理の指導	1,422
	動物医薬品取締指導	動物用医薬品の取締業務と適正使用の指導	547
	畜産物安全性確保対策事業	家畜衛生管理技術の向上のための指導・調査 豚丹毒ワクチンの接種費用の一部助成	6,769

詳細については、農業技術課畜産振興係、農産食品課食品安全係、広域普及指導センター、家畜保健衛生所にお問い合わせください。

(農業技術課 高平主幹)

鳥インフルエンザ発生状況

日に日に春らしい陽気になってまいりましたが、3月以降、3月5日に北海道の肉用鶏農場において、25日には北海道の採卵鶏農場、さらに翌26日に宮城県のおひる（あいがも）農場において相次いで高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生が確認されており、まだまだ気が抜けない状況が続いています。

今シーズン家きん農場におけるHPAIは、3月31日現在、15道府県で23事例（採卵鶏16事例、肉用鶏5事例、うずら1事例、おひる（あいがも）1事例）が発生し、約552万羽の家きんが殺処分の対象となっています。

野鳥においては2月27日に富山県上市町で発見されたフクロウの死亡個体からのHPAIウイルス（H5N1）検出を受け、発見地点から半径10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し渡り鳥等の監視強化を続けてきましたが、幸いにも県内ではこのフクロウ以外に感染した野鳥は見つかっておらず、3月28日をもって監視区域は解除されました。しかし3月以降も国内野鳥では継続して本病の発生が認められており、過去には養鶏場での最終発生が5月中旬であったシーズンもあります。農家の皆様におかれましては、引き続き飼養衛生管理の徹底等、本病の発生予防に努めていただくようお願いいたします。（西部家保検査課 西村係長）

豚熱とアフリカ豚熱の発生状況

令和8年2月26日に群馬県前橋市の飼養豚約2,000頭の養豚場で、3月11日には静岡県富士宮市の飼養豚約1,550頭の養豚場で、国内101、102例目となる豚熱の発生が相次いで確認されました。昨年度、豚熱の発生は国内の養豚場で5件確認されており、散発的な発生が続いています。

4月から6月にかけては、前年生まれ若い雄個体を中心に野生いのししの行動範囲が拡大するといわれており、これによる豚熱ウイルスの拡散が懸念されます。今後も厳重な警戒が必要です。

アフリカ豚熱は、依然として中国など東アジア地域でまん延しているといわれています。韓国では、令和8年に入ってから養豚場で本病が21件確認されており、発生が急増しています。

アフリカ豚熱の病原体は、海外から持ち込まれる畜産物に付着し、国内に侵入するおそれがあります。そこで我が国では、アフリカ豚熱が流行しているアジア地域からの畜産物の輸入を原則全面的に禁止しています。図1は、海外からの入国者が携行品として国内に持ち込もうとして、動物検疫所で持ち込み禁止、不合格とされた畜産物の件数の推移です。令和7年も、不合格件数は過去最多を更新しました。また、中国や韓国など東アジア地域からの不正持ち込みが多い状況も続いています（図2）。

養豚農家の皆様におかれましては、病原体の侵入を防止するため、飼養衛生管理基準の遵守徹底を引き続きよろしくお願いいたします。また、外国人従業員等に対して、外国から畜産物を持ち込まないよう改めて周知をお願いします。

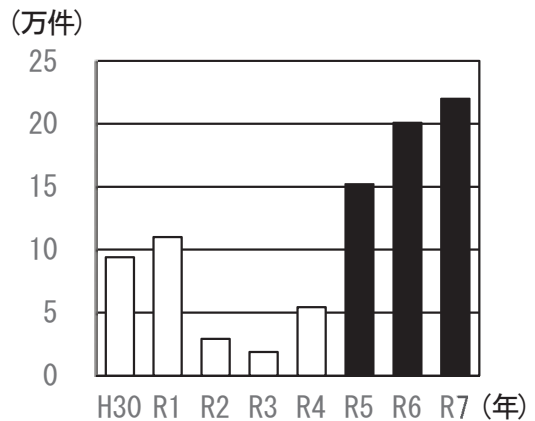


図1 国内持ち込み畜産物の不合格件数

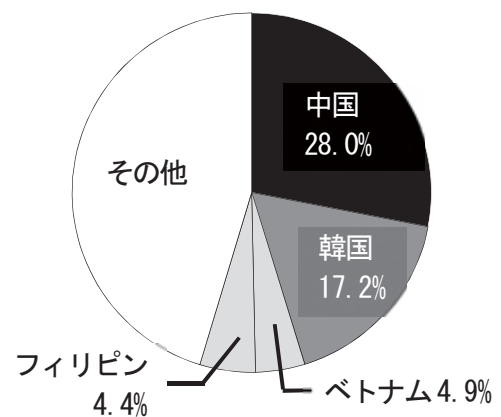


図2 不正持ち込みの国別割合(R7年)

(西部家保防疫課 飯田課長)

祝 稲葉山牧野 JGAP 認証取得！

令和8年3月9日付けで、小矢部市稲葉山牧野がJGAP認証を取得されました。おめでとうございます。県立中央農業高校に続き、県内では2件目の認証農場となります。県広域普及指導センター、西部家畜保健衛生所を含め毎月チーム会議を実施し、構築に向けて取り組み、令和8年2月13日の現地審査を経て書類等の是正を行い今回の認証に至りました。今後はさらに他の畜産農家の目標となるような農場になることを期待しています。（西部家保防疫課 増永係長）

県畜産関係職員人事異動

3月31日(退職)及び4月1日付けで、以下のとおり県の畜産関係職員が異動しました。(敬称略)

区分	氏名	新所属	旧所属
農林水産部	松井 信彦	農林水産部次長(特例任用)	農林水産部次長
	桶谷 祐二	農林水産部次長(昇任) 農林水産部参事(基盤整備・園芸産地連携推進担当)事務取扱	富山農林振興センター所長
	吉島 利則	農林水産部参事(特例任用)(みどりの食料システム戦略担当)兼 厚生部参事	新川農林振興センター所長
農産食品課	林 保則	課長 兼 花総合センター所長	農林水産企画課課長(企画担当)
	野田 基子	副主幹 食品安全係長事務取扱	西部家畜保健衛生所検査課長
農業技術課	山崎 一浩	農林水産部参事(昇任) 農業技術課長事務取扱	農業技術課長
	沖村 重雄	課長(畜産振興担当)	農業技術課主幹(畜産振興係)
	高平 寧子	主幹(昇任)(畜産振興係)	農業技術課広域普及指導センター副主幹普及指導員
	水木 亮史	副主幹(畜産振興係)	農産食品課副主幹 食品安全係長事務取扱
	田知 慶久	副係長	農業技術課主任
	松原 禎敏	主任	農林水産総合技術センター主任研究員
	武隈 奎樹	技師	新規採用
広域普及指導センター	清水 康博	副主幹普及指導員(役職定年)	農業技術課課長(畜産振興担当)
	五箇 大成	副主幹普及指導員	農林水産総合技術センター畜産研究所酪農肉牛課長
	松原 久美子	副係長	高岡農林振興センター係長
	夏目 初音	技師	新規採用
農林水産総合技術センター畜産研究所	後藤 利隆	所長(特例任用)	農林水産総合技術センター畜産研究所長
	粕谷 健一郎	副所長(昇任) 飼料環境課長事務取扱	農業技術課広域普及指導センター副主幹普及指導員
	四ツ島 賢二	副主幹研究員(役職定年)	農林水産総合技術センター畜産研究所副所長 飼料環境課長事務取扱
	清水 雅代	酪農肉牛課長	農林水産総合技術センター農業研究所 土壌・環境保全課長
	竹元 正士	主任研究員	西部家畜保健衛生所係長
	村田 伍輝	研究員	農業技術課技師
東部家畜保健衛生所	蓮沼 俊哉	所長	東部家畜保健衛生所次長 指導課長事務取扱
	池上 良	次長(特例任用) 指導課長事務取扱	西部家畜保健衛生所所長
	柿澤 敦子	副主幹(昇任)	東部家畜保健衛生所係長
	稲葉 真	環境課長	西部家畜保健衛生所環境課長
	早苗 美智子	主任	農業技術課主任
西部家畜保健衛生所	手崎 花梨	獣医師	新規採用
	森岡 秀就	所長(特例任用)	東部家畜保健衛生所所長
	神吉 武	検査課長	農業技術課副主幹(畜産振興係)
	宮本 剛志	環境課長(昇任)	東部家畜保健衛生所環境課長
	中村 吉史宏	係長	農林水産総合技術センター主任研究員
	藤井 晃太郎	主任	東部家畜保健衛生所主任
【転出】	長澤 健太	主任(昇任)	西部家畜保健衛生所獣医師
	雄川 洋子	農林水産総合技術センター所長	農林水産部次長 農林水産部参事(みどりの食料システム戦略担当)事務取扱 兼 厚生部参事
【退職】	青柳 浩	砺波農林振興センター副主幹普及指導員	農業技術課広域普及指導センター副主幹普及指導員
	山森 主税	退職	農林水産部次長 農林水産部参事(基盤整備・園芸産地連携推進担当)事務取扱
	大田 幸夫	退職	農林水産部参事 農産食品課長、花総合センター所長事務取扱

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

高病原性鳥インフルエンザ

(令和8年3月31日現在)

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養羽数	血清型
21	令和8年3月5日	北海道安平町	肉用鶏	約18.8万羽	H5N1
22	令和8年3月25日	北海道千歳市	採卵鶏	約46万羽	H5
23	令和8年3月26日	宮城県角田市	あひる	約9千羽	H5

豚熱

(令和8年3月31日現在)

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養頭数	備考
102	令和8年3月11日	静岡県富士宮市	繁殖	約1,550頭	
	関連農場	静岡県富士宮市	肥育	約650頭	

県内の主な家畜伝染性疾病等の発生

病名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
牛ロタウイルス病	牛	3月8日	1	1	
牛パストツレラ症	牛	3月13日	1	1	
豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS) (届出伝染病) と豚パストツレラ症	豚	3月10日	1	1	
豚丹毒 (届出伝染病)	豚	3月12日	1	1	と畜場発見

令和7年(2025年) シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況

事例	回収日	場所	種名
100~139事例	3月2日 ～ 3月26日	北海道：札幌市、函館市、旭川市、岩見沢市、伊達市、壮瞥町、厚真町、芽室町 岩手県：葛巻町、紫波町、金ケ崎町	ハシブトガラス、クマタカ、ハシボソガラス、ノスリ

家畜衛生検査手数料の改正について

本県では、①牛海綿状脳症(BSE)が疑われる死亡牛、②ダウナー症候群や乳熱等で起立不能となった死亡牛に対しては、農林水産省令に基づきBSE検査を実施するとともに、家畜保健衛生所(家保)で牛の焼却処理を行っています。また、病性鑑定を実施した月齢12カ月以上の牛については、病性鑑定家畜処理手数料を徴収した上で、家保で焼却処理を行っています。

一方で、燃料価格等が高騰したことで、牛の焼却処理に係る費用は増加しています。このため、近年の物価等の上昇を踏まえ、**下記の検査手数料について令和8年7月1日から改正いたします。**なお、(公社)富山県畜産振興協会が実施しているBSE検査に係る補助額は、これまでと変わりません。

牛の飼養者の皆様におかれましては、手数料の改正に対して、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

項目	令和8年7月1日～	改正前
死亡牛BSE検査手数料 検査済死亡牛を家保で処理する場合	55,700円	51,000円
病性鑑定家畜処理手数料	37,700円	32,900円

(農業技術課 田知副係長)

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電話(076)479-1106 F A X (076)479-1140
編集者 宮本 剛志 (富山県西部家畜保健衛生所)
○最新号は右のQRコードからいつでもご覧いただけます。

